

解析学 I 解答例

2013.11.12

■ 2次元ベクトル $\mathbf{v}_1, \mathbf{v}_2$ が一次独立ならば, $\det(\mathbf{v}_1, \mathbf{v}_2) \neq 0$ が成り立つことを示せ.

(解) 任意の α_1, α_2 に対して

$$\alpha_1 \mathbf{v}_1 + \alpha_2 \mathbf{v}_2 = \mathbf{0} \quad \Longleftrightarrow \quad (\mathbf{v}_1, \mathbf{v}_2) \begin{pmatrix} \alpha_1 \\ \alpha_2 \end{pmatrix} = \mathbf{0}$$

であることに注意したい. $\mathbf{v}_1, \mathbf{v}_2$ が一次独立, かつ, $\det(\mathbf{v}_1, \mathbf{v}_2) = 0$ であると仮定する. $\det(\mathbf{v}_1, \mathbf{v}_2) = 0$ より

$$(\mathbf{v}_1, \mathbf{v}_2) \begin{pmatrix} \alpha_1 \\ \alpha_2 \end{pmatrix} = \mathbf{0}$$

は非自明な解をもち, その解は $\alpha_1 \neq 0$ または $\alpha_2 \neq 0$ である. 一方, $\mathbf{v}_1, \mathbf{v}_2$ は一次独立であるから, $\alpha_1 = \alpha_2 = 0$ となり, 矛盾である. したがって, $\mathbf{v}_1, \mathbf{v}_2$ が一次独立ならば, $\det(\mathbf{v}_1, \mathbf{v}_2) \neq 0$ が成り立つ. ■